



報道発表資料の配付日時 5月 2日 (月) 15時30分

発表項目 (行事名)	令和4(2022)年度環境・エネルギー産業総合支援事業(開発支援事業)補助金の事業計画の募集について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道では、積雪寒冷地である本道の地域特性を活かした環境・エネルギー産業の振興を図ることを目的に、省エネルギーや新エネルギーに関連する製品の開発・販売、サービスを提供する事業者を対象に製品の技術開発や改良、実証試験及び販路拡大のための市場調査、展示会展展等の取組を支援をします。</p> <p>●対象者：・道内に主たる事務所又は事業所を有する法人 ・上記法人を含む複数事業者の共同体(コンソーシアム)</p> <p>●対象事業：① 道内事業者の環境関連の技術開発及び実証等を行う事業 (大学等と連携して行う技術開発及び実証研究又は道内事業者が有する技術や開発した製品、サービスを核として複数事業者が連携した実証事業等) ② 道内の環境関連の製品、サービスの開発及び事業化を図る事業 (製品、サービスの有効性及び環境影響、コスト算定等を目的として行う試作品の作成や改良。また、これらと併せて行う市場調査)</p> <p>●補助率：補助対象経費の2/3以内 ●補助限度額：対象事業①は1,000万円以内、対象事業②は300万円以内 ●募集締切：令和4(2022)年6月10日(金)まで</p>		
参考	<p>※ 募集概要は別添チラシのとおりです。 ※ 募集案内等は、環境・エネルギー課内にあるホームページを御覧ください。 http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/kksg/kankyoene/hojo.htm</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	より多くの事業者の皆様からご応募いただけるよう、積極的な報道をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	経済記者クラブ	
担当 (連絡先)	<p>経済部 環境・エネルギー局 環境・エネルギー課 環境産業担当 主幹(環境産業) 松永 和敬 TEL 直通 011-204-5320(ダイヤルイン)、011-231-4111(内線 26-155)</p>		



省エネルギー・新エネルギー関連技術やサービス開発など、環境・エネルギー産業の取組を支援します！

「環境・エネルギー産業総合支援事業(開発支援事業)」

令和4(2022)年度 補助事業募集のご案内

道では、積雪寒冷地である本道の地域特性を活かした環境・エネルギー産業の振興を図ることを目的に、省エネルギーや新エネルギーに関連する製品の開発・販売、サービスを提供する事業者を対象に製品の技術開発や改良、実証試験及び販路拡大のための市場調査、展示会出展等の取組を支援をします。

【対象事業は？】

- 1 道内事業者の環境関連の技術開発や実証などを行う事業で、次のいずれかを満たすこと
 - ① 原則として、道内の大学などと連携して行う技術開発や実証研究
 - ② 道内事業者が有する技術や開発した製品、サービスを核として複数事業者が連携した実証事業等
- 2 道内の環境関連の製品、サービスの開発や事業化を図る事業で、次の事業内容とする
 - ① 製品、サービスの有効性や環境影響、コスト算定等を目的として行う試作品の作成や改良
 - ② ①と併せて行う収益性や販路等のマーケティングを目的として行う市場調査

【補助対象者は？】

- 1 道内に主たる事務所又は事業所を有する法人
- 2 1の者を含む複数事業者による共同体(コンソーシアム)

【補助額は？】

▶ 補助対象経費※の2/3以内

※原材料、機械装置費、技術導入費、特許実施費、外部委託費、人件費(臨時雇用)、調査費、展示会出展経費、その他

▶ 限度額

- ・1,000万円
- ・300万円(市場調査と併せて実施する展示会出展の場合)

【対象事業例は？】

本道の地域特性を活かした次の事業

- ・積雪寒冷地における環境・エネルギー技術の向上に資する技術開発、実証試験
- ・次世代自動車の普及・導入拡大に資する事業、実証試験
- ・自動運転技術の向上に資する技術開発、実証試験。
- ・バイオマス(木質、家畜残さ等)の有効活用の促進に資する技術開発、実証試験
- ・住宅・ビルの省エネルギー化、断熱性能の向上に資する技術開発、実証試験
- ・多様なエネルギー(太陽光、風力発電、蓄電池等)を組み合わせた自立分散型エネルギーの促進に資する技術開発、実証試験
- ・農林水産業や建設業における省エネルギー型の機械、機器
- ・省エネ設備の効率的な制御やエネルギーの見える化可能となるシステム(BEMS、FEMS)
- ・MaaSの実証や共同輸配送など物流効率化の実証

【募集スケジュール(予定)】

- 1 事業計画の募集：6月10日(金)まで
- 2 有識者会議：6月下旬
- 3 事業計画の認定・通知：7月下旬～
- 4 補助金交付申請事務：認定通知後順次
- 5 補助事業完了期限：翌年2月1日まで

《お問い合わせ先》

北海道 経済部 環境・エネルギー局
環境・エネルギー課 環境産業担当

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 [道庁本庁舎8階]

TEL 011-204-5320 (ダイヤルイン)

FAX 011-222-5975


ホームページ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kke/kksq/kankyoe/hojo.htm>

※応募をご検討される際には、事前にご相談ください。



本事業は「電源立地地域対策交付金」を財源としております。

これまでの支援事業

技術開発のエネルギー分野	補助事業の概要（開発研究、改良、実証試験）
積雪寒冷地型の高効率型省エネ住宅の研究 エネルギー・マネジメント・システムの開発 (EMS、HEMS、BEMS)	太陽熱利用パッシブ住宅の研究
	小規模酪農家向けエネルギーマネジメントシステム(EMS)の開発
	再生可能エネルギー利用の空調住宅として普及させるモデル住宅の開発
	再生可能エネルギー利用省エネシステムの開発
地中熱の利活用 太陽熱の利活用 融雪技術の向上	地中熱ヒートポンプと太陽熱を利用した暖房システムの開発
	積雪寒冷地における融雪と地中ヒートポンプ高効率化の開発
	融雪槽を利用した地中熱ヒートポンプの自動運転切替、タブレットによる遠隔操作の開発
バイオマス（家畜、木質等）の利活用	家畜ふん尿から抽出した固形物の燃料化装置の開発
	バイオマス液体燃料機器の開発
	炭層メタンガス(CBM)を地域のエネルギーとして活用する研究
積雪寒冷地における風力の利活用	北海道の自然環境に適した小形風力発電機向け発電機の開発
積雪寒冷地における電気自動車 (EV)の改良	積雪寒冷地に即した小型電気自動車の改良、走行実証試験
水素の利活用 	水素エネルギーを利用した自動窓開閉装置の開発
	水素社会実現に向けた水素タンク・水素蓄圧器の開発
	水素社会実現に向けた水素タンク製品化に向けた開発
	水素タンク開発における新構造技術の開発
その他	熱源を使用せず凍結防止剤を循環させる防積雪装置の開発
	古紙発泡断熱材を使用した抗菌保冷保温ボックスの開発
	中層建築物の木造化に対応した木枠の開発

